

「生涯楽習だより」が 創刊 15 年・第 60 号に！

「生涯楽習だより」は、今回の発行を以て第 60 号を迎えることとなりました。振り返ればこの情報紙発行は 15 年も続いてきたこととなります。その間、いろいろな課題もありましたが、長い歴史が刻まれて来ました。今回はその創刊当時のことを思い起こし、新たな発展に向けての出发点になることを期して、ページ数を増加し第 60 号記念号としました。



創刊号（リソグラフで印刷）

「ふちゅう東西南北 生涯楽習だより」の誕生

2002年4月府中市生涯学習ボランティアが発足し、私が所属したのは情報紙作成班でした。府中市内から学習に関する情報を集めて発信することを目的とした学習情報紙を作ってもらいたいという市からの要請で、早速編集会議が開かれたのです。話し合いを重ねて「ふちゅう東西南北 生涯楽習だより」と表題が決まり、A4判・4ページの創刊号発刊が決定しました。

その内容は、2002年9月28日（土）～10月6日（日）まで開かれる第9回府中市生涯学習フェスティバルの特集号を作成することでした。当時は現在よりもイベントの数も少なく、市民作品展の出展数が多数でした。当初より続いている主なイベントは、特別講演会・作品展（当時504点）・市民発表会（同15団体）・サウンドフェスティバル（同9団体）・お話し

会（幼児向け）・パソコン・陶芸・カラープリントなどで、これらの内容を掲載するために何度も編集会議を開きました。作成班員は11名でしたが、パソコンに詳しい人は少数で、原稿起こし、レイアウト、写真をコピーして切り張りし、ぼけている所はボールペンで書き加え、何とか元原稿が完成しました。印刷機で刷りあがった情報紙は、現在と比べると不鮮明な写真ではありましたがこれが当時としては限界で、完成した喜びは格別なものでした。

第1号「ふちゅう東西南北 生涯楽習だより」は2002年9月に完成、発刊しました。（記：田井美和子）



創刊まもない頃の編集会議の様子

☆タイトルデザインの変遷☆



- * 創刊号（記事参照）から使用
- * 太陽とけやきをモチーフに少しずつ変化（図は第44号）



- * 第48号から採用
- * けやき並木をイメージして作成（プリントはモノクロ）



- * 第56号から現在に至る
- * カラー化を機に丸型に変更（背景の写真は毎号差し替え）